



第三者コメント

三重大学特命学長補佐

渡辺 悌 扇



- 三重県は環境コミュニケーションの充実と進化に熱心に取り組んでこられました。平成18年度には第10回「環境コミュニケーション大賞」(主催:環境省、財団法人 地球・人間環境フォーラム)の環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)を受賞されました。過去の受賞歴もあったのですが、今回は更にグレードの高い受賞であり、心からのお祝いを申し上げますとともに、更に環境コミュニケーションの質的進化に期待いたします。
- 三重県庁のISO14001適用範囲は本庁舎や県内各地の地域機関なども含まれ、更にグリーン購入、地球温暖化対策率先実行計画の対象組織を外部に多く有することから極めて多様な活動が同時並行的に進められています。報告書の随所に取り上げられている「職員インタビュー」や「トピックス」はこうした各部署での際立った取組を紹介し、「見える化」される上での工夫の一環と評価されます。
- 限られたスペースで、こうした多様な活動や努力の成果を十分に表現するには限度があるのも事実であろうと想像されます。とくに、グリーン購入や地球温暖化対策率先実行計画など目標設定期間の異なる領域の管理データについて、実績評価がISO14001の評価と比べて理解しにくいところがあり、今後の改善を期待します。
- 三重県庁のように多様で且つ大きな組織のマネジメントの向上には、基本理念にしみじみも表現されているように「職員一人ひとりの気づきによる環境行動」が絶えず求められます。その意味で、職員の環境教育の果たす意義はいっそう重要になると考えられ、報告書にも各種研修における工夫・改善が伝わってくることを望む次第です。

